

政務調査研究視察 報告書

平成18年12月18日提出

視 察 日	平成18年10月24日(火)～10月25日(水)	
視 察 先	三木市、岡山市、三次市	
視 察 内 容	学校給食の民間委託について	
視 察 者	山本雅宏、鈴木豊、田口正夫、山崎憲伸、園山康男 (23～24日) 中根義金 (24～25日) 野村康治、柴田 泉、清水 勇	
岡 山 市 ・ 三 次 市	<p><岡山市：学校給食民間委託（試行）について></p> <p>1、 学校給食の民間委託（試行）について</p> <p>平成10年11月議会で、教育費に対する給食費の経費が高いことが指摘され</p> <p>① 1食当たり単価750円の経費は高く、人件費部分に問題があり、合理化の方策を追求する。</p> <p>② 学校給食経費を縮減し、他の学校運営、施設整備等、教育の高度化に活用する。</p> <p>③ 給食の内容、質を落とさず、経営は時代に合わせてよい面を出してゆく。</p> <p>の3点で議論が始まった。</p> <p>2、 学校給食の民間委託（試行）の経緯</p> <p>平成11年8月に岡山市学校給食運営審議会が設置され、中間報告で今後の在り方について発表があり翌年民間委託の試行候補校を発表、その後2年試行される。</p> <p>平成14年3月に学校給食調理業務等の民間委託への移行順序について「第一次中間計画」が教育委員会より発表された。それにより各給食センターで順次実施されている。</p> <p>3、 学校給食の民間委託による効果</p> <p>学校給食1食当たり単価が平成10年度で750円（公費負担額477円、保護者負担額273円）が平成17年度に634円（公費負担額365円、保護者負担額269円）に下がった。</p> <p>さらに食育のために、加工食品を減らした材料費の増大にたいしても吸収できている。</p> <p>[結果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校給食経費が高いとの考え方から合理化案を追及していったことによって経費削減ばかりでなく、 <ol style="list-style-type: none"> 保護者負担額の減少 食育問題の解消 学校ごとの年間指導計画や学校行事に対応した内容の献立ができる 正しい食事のマナーを身につけるために献立に見合った食器具を使用したり地域の食材を使った食育を目指せる。 週に何回かの米飯給食にするなど伝統的な食文化が継承できる。 等時代にあった食問題が解決できる <p><三次市：学校給食民間委託（中学校デリバリー給食）について></p> <p>1、 中学校デリバリー給食の概要</p> <p>三次市の学校給食は教育活動の一環として望ましい食習慣の形成や、学校生活を豊かにし生徒の健康の増進を図ることなどを目標に学校給食法に基づいて実施している現在中学校12校のうち5校でデリバリー給食を実施している</p> <p>2、 選択制によるデリバリー方式</p> <p>家庭からの弁当持参とデリバリー方式の給食が選択できる形態としている</p>	



デリバリー給食とは教育委員会の栄養職員が献立の作成と食材の発注を行い、民間の業者に調理、盛り付け、配送、回収などの業務を委託している

3、中学校デリバリー給食の効果

家庭の事情によって弁当持参組は量、好き嫌い、母の味が求められている生徒は完食度が高く健康である

デリバリー組は共働きの多く、メニューによって毎月選択が可能であり、月ごとに家庭の食事を弁当として持参している。

4、問題点

温食、しるもの、量、個人の趣向が優先等、まだまだ継続が難しいと思われる三次市の地域性（合併によって旧市内、山間部）による統一が不可能。各地域の風土風習によって食生活の違いが多い。

〔感想・岡崎市への反映〕

- 1、視察先の岡山市、三次市においてはそれぞれの地域にあった学校給食を考慮して民間委託という方向性を見出している。
- 2、岡崎市も各給食センターの経営に民間のノウハウを取り入れることによりコスト削減方法を考える時が来た。
- 3、東部給食センターの計画からPFI方式の導入を考える必要がある。
- 4、食育の原点は、子供たちが将来にむかって成長する時期の重要な要素を持っていると認識して本市も取り組んで行くべきと考えます。